「能登半島地震災害支援活動」岡山ＪＤＡＴ記録
令和６年２月１０日～２月１３日

２月１０日

時間	行程	時間	行程
8：30	岡山県歯科医師会集合	15：13	徳光サービスエリア休憩
9：08	岡山県歯科医師会出発	15：23	徳光サービスエリア出発
9：30	山陽 IC 通過	15：34	金沢東 IC 通過
10：50	淡河サービスエリア休憩	15：49	石川県歯科医師会到着
10：02	淡河サービスエリア出発	17：23	石川県歯科医師会出発
12：37	米原 JCT 通過	17：50	エネオスガソリン給油
12：52	賤ヶ岳サービスエリア休憩	18：05	コインパーキング着
13：42	賤ヶ岳サービスエリア出発	18：15	ホテルリブマックス金沢着

石川県歯科医師会にて

①事務局作田様との打ち合わせ

●資料等について

＊輪島市内の診療再開をされた歯科医院のリストが記載された資料を頂く。

・角歯科、笹谷歯科等の若い先生が中心になってされている。歯科治療の要望のある方へ歯科医院の情報の記載されたものをお渡しし、口腔内に問題をお持ちの方は歯科受診をしてもらうようにする。

＊２枚のアセスメントシートの他、新たに「歯科医療必要者申し送り票」を活用する。

⇒要治療の方を把握するために活用する。(承諾があれば、氏名の記載をする) 治療希望の方は歯科医療機関につなげる、または次の JDAT に繋げていく。

＊災害処方箋が必要な時は本部に連絡をする。

＊保険証が無い事を心配して医療機関に受診をされない方おられるようだが、一部規定はあるがおおよそ無料で受診ができる。そのことを記載した資料を受け取る。必要な方にお渡しをする。

●状況、情報、行動方針

＊高齢者が多いことが予想される。義歯ケースなど関連グッズが希望される方が多い。

＊水が使えないことから清拭シートやマウスオッシュ等を希望される方が多かったが、現在は落ち着いている

＊現地では公的でない避難所も多く、情報が届きにくい。また、避難所の責任者も統一されていないことや所在地がわからないことがある。

●支援するにあたり重要となる事

＊支援が必要な避難所を正確に把握する。

＊要治療者を治療につなげるために、被災者一人一人のアセスメントを行い、地元の歯科や、次の JDAT との情報の共有をしっかり行う。

●その他

＊現地の先生方が発災から休まず支援されているため日曜日の活動は無しとなる。

＊道路は危険なところが多いので時間に余裕をもってほしい。柳田インターチェンジが混んでいる。

＊アセスメントは現地でコピーは取れないので、コンビニか同じものを２部作るなど工夫をしてほしい。

＊明日からの活動時間は現地と相談をするように。

②物品補充
＊義歯洗浄剤やシュミテクトなどの歯磨剤を補充した

明日に向けて・・
・明日、明後日の交通情報を石川県歯科医師かに伝え、今後の参考にしてもらう。
・明日は６：１５集合、６：３０出発予定
・メンバーの健康状態良好

２月１１日

時間	行程	時間	行程
6：15	ホテルリブマックス金沢ロビー集合	13：05	県立輪島高校出発
6：35	コインパーキング出発	13：10	④（避難所）山上石油到着
6：53	のと里山海道通過	13：25	山上石油出発
7：10	柳田 IC 通過	13：45	⑤（避難所）藤池集会所到着
7：27	徳田大津 IC 通過	14：00	藤池集会所出発
7：40	横田 IC 通過	14：10	⑥(避難所)尾根山会館到着
7：50	道の駅中島ロマン峠休憩（トイレ有）	14：25	尾根山会館出発
8：41	穴水 IC 通過	14：50	⑦（避難所）鳳至（ふげし）小学校到着
9：13	①輪島保健医療福祉調整本部到着	15：10	鳳至小学校出発
9：25	輪島保健医療福祉調整本部出発	15：15	ファミリーマート報告書コピー作業
9：34	②能登北部保健福祉センター（DHEAT）到着	15：30	⑧能登北部保健福祉センター到着
11：00	能登北部保健福祉センター（DHEAT）出発	15：50	能登北部保健福祉センター出発
11：04	③（避難所）県立輪島高校到着	19：30	金沢到着

当日の流れ：上記番号順

①	JDAT のチーム登録をする

②	支援活動場所を決める 1、壁に掲示されている避難所と過去の派遣 JDAT の報告書から活動場所を確認する ＊活動場所は過去の JDAT の活動日、避難人数、ニーズの有無、地域住所等が記載されているのでそこから一番良いと思うところをチームで決定する ※本来は本部を取りまとめている DHEAT から歯科のニーズがあれば指示があるが、歯科のニーズが無い場合は各 JDAT チームがそれぞれ決めて出動する。 ⇒滋賀 DHEAT から引き継いだばかりの徳島 DHEAT だったので具体的な活動方法等がまだ理解できていないと思われた。岡山 JDAT も初めての為、不安に思いながらいたところ、すでに活動をしていた、三重 JDAT の方々が来てくれて説明をしてくれた。このように、JDAT が次に派遣される JDAT に引継ぎをしてくれていることがわかった。 2、決定後、DHEAT、石川県歯科医師会輪島歯科医師会角先生に報告を入れる。 ※北海道保健師のチームから本日、行く避難所の山上石油の情報を知りたい言われる⇒報告済
③	＊避難者８０人　当日３０人 ＊段ボールベットに布カーテンで仕切った状況。 ＊洗面所は４つと少ないが、それぞれが、外で歯磨きをされている方が多いとの情報であった。 ＊歯科支援物資：ガーグルベースン、シュミテクト、子供用フッ素入りの歯みがき粉、歯間ブラシ、義歯ブラシ、義歯ケース等を追加補充した。 その中でも歯間清掃具は歯間ブラシが全くなく、デンタルフロスはあったが、歯間ブラシが必要と思われた。また、歯間ブラシをする為に鏡が欲しいという事で、ケースに入っていた鏡をお渡しした。 足りないものは、角先生に連絡した。 ＊ポスターの掲示を行った（うがいの仕方や誤嚥性肺炎についてなどの資料） 個別相談 1、高齢者女性 子供と一緒に居られる。何とか洗面所まで歩いていき、毎日歯磨きをしている。歯の痛みなど困ったことは無い。物品も十分にある。誤嚥性肺炎の予防や口腔機能を維持していくための口腔ケアの重要性について説明をした。 2，高齢男性 地震で家が倒壊したときに義歯を失うが、角先生に新作してもらい、3日後に出来ることになっているのでとても楽しみだ。娘さんと一緒に居られる。何とか避難所にある柔らかいものを食べている。 3、５０歳～６０歳代男性 輪島市に住所が無く、税金（住民税等）を納めてないので罹災証明書がもらえない。医療などの公的支援を得ることができず、同じ日本人なのに被災者としての救済がされないことに憤りを感じると言われていた。口腔についてはセルフケアも問題はなく、困りごとは無い。このような環境化でもある為、口腔ケアの必要性を伝える。 4、４０歳～５０歳代女性

	歯ブラシや歯磨剤などの不足も無く、歯磨きもできているが、外の洗面所が寒いとの事なのでガーグルベースンを使って家内で歯磨きをする方法を伝えた。 5、若い男性（ベトナムからの技能実習生） 口腔の問題はなく、毎日歯磨きをされている。 会社が被災し避難所で生活をしている。日本語での会話も十分とは言えないが何とか可能。 ※被災地には海外から来られている、技能実習生や留学生がいることがわかった。住居の環境にしても経済的にも困窮していて、公的支援をどうしていくのか、課題に思われた。 6、６０歳代男性 ぐらぐらしている歯が２本あり時々腫れる。痛みは無し。 歯科医院には行きたくない。歯磨きの仕方やマウスウォッシュ等の洗口剤の使用などを勧めた。 痛みや、食事に支障が出るような時は避難所のスタッフの方に伝えるよう話をした。 7、高齢者女性 左下第２大臼歯の動揺があり、抜歯の希望を言われる。歯科受診は希望されず、避難所での抜歯を希望されるが、体調面の心配もあることから、説明をした上で歯科医院での抜歯を理解してもらう。（おそらく受診はされないのではとは思うが・・）口腔内の状況として、動揺歯は自然脱落をする可能性があるが、歯肉周囲の炎症は無い。全体の口腔衛生状況も良好。 痛みが出るなど、食事への支障がある場合などはスタッフに伝えるように話しをした。 8、４０歳代女性 口腔内良好。被災前は歯間ブラシを使用していたが、ここでは鏡が無いのでやりにくい。 ⇒鏡の提供。ガーグルベースンをお渡しし、家内でもケアができるようにと話しをした。 その他 ＊避難所に置かれている食品は甘いものや糖質中心のものが多い。いつでも食べることができるため、歯や口腔の健康だけではなく、全身の健康が心配である。特に子供のう蝕への心配もあり、フッ化物の利用が必要と感じた。（フッ素入り歯みがき粉を補充した） ＊洗面所などのある通路の部分を常に清掃をされていた。感染症の予防の為にも重要なことと感じるとともに、徹底されている状況に頭が下がった。
④	＊避難者３人と犬１匹　当日２人　成人男性３人　プロパンガスの会社の社長と社員 ＊物資あり、成人男性であることから、支援は不要と感じた。 社長様が岡山に住んでいたことがあるとの事で話がはずんだ。被災されている中でプロパンガスの復旧の為、尽力されている。
⑤	＊避難者４人（ひと家族のみ　９０歳の女性が居る） ＊当初は１５人が避難をしていた。支援物資が届くとそれぞれが取りに来られている。 義歯洗浄剤が無いと言われていたため義歯関連物資をお渡しする。 ※離れた場所にあるためか、支援が届きにくかったのかもしれない。 今回はたまたま、ご主人に偶然お会いできたことも支援が出来た理由ではないかと思う。 次の避難所の尾根山会館を紹介してくださった。
⑥	＊避難者０人だが、当初は１６人程度避難をしていた。（１０名が７５歳以上の高齢者で９４歳

	の高齢者もおられる） ＊義歯関連物資、歯みがき粉、歯ブラシ等をお渡しした。 ※避難所は JDAT へ把握されていないようだったが、現状としては避難所には 0 人であり、今回はたまたま、地域の被災された方にお会いでき、情報収集ができた。 ●お会いした高齢女性からの話しから 災害後、集落の方が避難をされ遠くへ行かれている方もいる。高齢者が多いため人々が去っていく寂しさを感じている。そして、集落が崩壊していく事にとてもさみしく思うと言われていた。 ⇒女性の話から 山間部の小さな集落への介入は把握することの大変さを痛感したが、支援を求めているところには必要なものを届けたいと思った。
⑦	口腔ケアの依頼があり行ってみたが、個別対応か、集団対応か以前に支持されていたことで、現スタッフも理解されていないところであった。その為、明日改めて支援に入ることにした。 ・集団指導、個別指導をすることとし、事前に避難者には周知をしてもらう事とした。 １１時～１４時を活動時間とした。
⑧	活動報告 1、アセスメント表（3 枚）をコピー：コンビニ ・DHEAT、石川県歯科医師会、岡山県歯科医師会提出分と岡山県 JDAT（4 人）分 2、能登北部保健福祉センター（DHEAT）に入る 3、ファイル冊子にファイリング 4、壁の張り紙に回った避難所のところに日付をつける（マーカーで） ・避難者人数など変更があれば記載する ・明日訪問する鳳至小学校の活動についての詳細を張り紙した。 5、DHEAT に終了の報告をする 6、石川県歯科医師会角先生に終了の報告をする 7，岡山県歯科医師会南先生に終了の報告をする 以上金沢へ

★支援活動から考える事、行動方針について★

JDAT のチームは次々と入れ変わるので、口腔ケアや歯科治療の要望などは確実に各避難所に伝える責任があるため、情報の伝達はしっかり行っていきたい。また、避難所は大小、多数あり、過疎化もあり、事態は長期化することも考えられる。きめ細かく支援を届かしたい。もっと行政や医療従事者だけではなく地域の人々の声を拾っていければと感じた。実際、本日の訪問した避難所は偶然出会った駐在所の奥さまや被災の片付けで外に居られた男性との縁がなければたどり着くことができなかったと思う。

明日に向けて・・・

・明日は６：１５集合、６：３０出発予定

・メンバーの健康状態良好

２月１２日

時間	行程	時間	行程
6：21	ホテルリブマック金沢出発	14：30	（避難所）鳳至公民館到着
6：35	コインパーキング出発	16：19	④鳳至公民館出発
9：08	①能登北部保健福祉センター到着	16：42	輪島市役所報告書コピー
9：30	能登北部保健福祉センター出発	17：03	⑤能登北部保健福祉センター到着
9：45	②石川歯科医師会輪島支部笹谷先生	17：35	能登北部保健福祉センター出発
10：30	③（避難所）輪島市立鳳至小学校到着	20：00	金沢到着
14：20	輪島市立鳳至小学校出発		

当日の流れ：上記番号順

①	DHEAT に本日の支援活動についての内容や状況（ニーズなど）を確認する。 ・予定通り、輪島市立鳳至小学校へ活動を行う。 ・本日の JDAT は岡山県だけとのことで、他県の JDAT の引継ぎは無しであった。
②	移動の際偶然、笹谷先生とお会いすることができ、先生から、今の現状報告を受けた。また、岡山 JDAT として活動した中で、物資の不足や治療の要望などを伝えることができた。 笹谷先生から ・現状、避難所が集約されつつあり、地区によっては歯科医院の再開されたことも有り、JDAT の介入を好まないところがる。 ・笹谷先生自身も歯科医院を再開したものの、通常の診療は難しいのが現状であり、今後の先生の生活の心配もありながら、地域の復興に向けて介入しながら頑張っていきたいとい言われていた。 ・まだまだ、大変な状況であるが徐々にマスコミにも取り上げられなくなってきている。現状を知ってもらいたい。 ・角先生とお二人で熱心に休み返上で避難所を回られておられました。診療されても JDAT からの連絡もあることから、通常の診療は厳しいと感じた。
③	★前日から歯科が来ることを避難者に周知をし、歯の話をすることを伝えていたが集まらなかっ

	た。その為本日の活動は下記の通りとなった。 ＊災害関連死を無くすためには口腔ケアが重要であること、そして、その口腔ケアを行う為の物資の説明を岐阜県の避難所を管理しているスタッフに行った。 ⇒とても熱心に聞いて下さり、口腔ケアの重要性を再認識してくださった。 今後は食後の歯みがきのお声掛けなどしていきたい。また、寒い時でも家内でできる方法を伝えたい。と言ってくださった。、 ＊物資の整理と物資の説明書きを追加した。 ＊口腔ケアや近隣の歯科医院情報の資料の張り出し等を行った ＊個別の相談を行った。（事前に岐阜のスタッフがマイクで放送をしてくれた） 個別相談 1、６０歳代の女性 １月４日に歯科医院にて右下第二大臼歯を抜歯する予定だったが、できずに現状に至る。 歯科医院がまだ、再開していない。痛みはないが、右では噛まないようにしている。 ⇒同意を得、情報を JDAT に伝えた。今後は痛みがでるようなら、スタッフにお伝えするように話をした。また、定期的に来られている角先生にも見ていただけると思う。 2、７０歳代女性 かかりつけ歯科が輪島市の南歯科医院だが、まだ、開院されていない。震災で右上の PD を失った。食事には支障はないので、開院され次第新作を希望されている。 歯間ブラシを使用したいがここには無い事から困られていたので、提供した。外の寒い洗面所で歯磨きをしなくても良いようにガーグルベースンの提供をし、家内でできる方法を伝えた。 ⇒南歯科医院の患者との事なので JDAT への情報を提供しても良いか確認をし了承を得た。 ⇒家族で南歯科医院に定期受診をされていたようで、お孫さんやご家族もおられた。歯磨きについては問題なくできているご様子。 3、その他十数名の方にお声掛けをしたが、問題ないとのお返事 それぞれがプライベートの空間として、パーテーションやカーテンで閉ざされた状態のため、コミュニケーションは取りにくい状況でしたが、お声掛けをし、それに対して、返事がある、と言った状況であった。 ただ、それに対しても、嫌がられる方はおられず、快いお返事を頂けたことには、大変ありがたい気持ちになった。 その他 ＊共同の洗面所にマウスオッシュが置かれていた。歯磨きのポスターが貼ってあり、お声かけの中でも歯磨きはされているという事だった。まだまだ、寒さ厳しいことも有り、外での十分な歯磨きは大変なことと察した。ガーグルベースンを使用して、家内で歯磨きができると良いと感じた。 ＊歯間ブラシの提供が必要と感じた。 ⇒発泡スチロールのガーグルベースンと歯間ブラシを補充した。

	＊輪島高校同様に支援物資は甘いもの、糖質のものが中心となっている。口腔はもとより、身体的な部分において心配が懸念される。
④	★鳳至小学校での活動を終えようとしたところ DHEAT から口腔ケアを希望されている方がいるという情報が入った。その後、義歯の不具合がある方もおられ義歯の調整を行った。 1、８０歳代男性 残存歯：上顎 2―2 上顎 PD　下顎 FD 水が出ないことから、ペットボトルの水での対応になる。その為、義歯をティッシュペーパーで拭き取り清掃をしていた。可能なら、定期的な口腔ケアが必要な方である⇒拒否も無く快くケアを受けてくれる。引き続き JDAT に介入をしてもらう うがいもぶくぶくうがい可 ＊義歯を外して、発泡スチロールのガーグルの中で義歯ブラシを使用し清掃をする ＊柔らかめの歯ブラシで上顎の残存歯の歯みがきをする、その時に誤嚥防止やうがいでの残渣物の排出を少なくすることを考えて歯磨きシートでふき取りをしながらケアを行った。 ＊コップは 2 つ、うがい用と歯ブラシをゆすぐためのもの、両方とも少量の水で可 ＊うがいをしっかり行ってもらう。 ＊きれいになった義歯の装着 ⇒適合良し ＊義歯洗浄剤の提供と使用方法について説明をした。スタッフにも伝達をした。 2、80 歳代女性 上下 FD 義歯が痛い。震災前から痛かったが、我慢をしていた。しかし、避難をしたことで提供されている食事形態が変わり、食べにくさが増したご様子。 ●義歯の調整の前に口腔ケアを行う。 ＊舌苔あり、お口全体をスポンジブラシにて粘膜清掃をし、うがいをしてもらう。 ＊1 の方同様、洗面所が使用できないので、発泡スチロールのガーグルベースンでの義歯清掃の方法を伝える。義歯ブラシと義歯洗浄剤、義歯ケースの提供を行う。 ●上下義歯調整 ＊フィットチェッカーを利用し、ポータブルユニットを使用し義歯調整を行う。 ⇒少し時間がかかったが、痛みがなくなり、今日からおいしく食事ができると喜んでいた。 ※マイクロモーターエンジンの馬力が弱く削合が難しかったので、急遽、ポータブルユニットで行った。 ＊JDAT へ情報共有する事の了承を得た。今後、経過観察とフォローのお願いを次の JDAT につなげた。 その他 この施設は JDAT の活動記録はあったが、物資が不足されていた。その為、次の JDAT に補充のお願いをした。口腔ケアの介入も必要であると感じた。

⑤	活動報告 1、アセスメント表（3枚）をコピー：輪島市役所 ・DHEAT、石川県歯科医師会、岡山県歯科医師会提出分と岡山県 JDAT（4人）分 2、能登北部保健福祉センター（DHEAT）に入る 3、ファイル冊子にファイリング 4、壁の張り紙に回った避難所のところに日付をつける（マーカーで） ・避難者人数など変更があれば記載する 5、DHEAT に終了の報告をする 6、石川県歯科医師会角先生に終了の報告をする 7, 岡山県歯科医師会南先生に終了の報告をする 以上金沢へ
その他の情報	＊トイレは輪島市役所と輪島市民病院との情報だったが、能登北部保健センターの外にも仮設のトイレがあり、他にも仮設のトイレの設置があった。大きい避難所でも仮設トイレが多数設置されていた。 ＊輪島市内のコンビニは開いているがトイレは使用できない。2/12 はコピー機がどこも使用不可となっていたため、輪島市役所で行った。（輪島市役所有料だが使用可能）

★支援活動から考える事、行動方針について★

活動終了後、石川県歯科医師会の角先生に連絡をした。被災直後から大小点在する避難所を回られていることや、各 JDAT との対応もあり、心身共にかなり、ハードな印象だった。全体の把握をし、また、個々のケースに対応するにはマンパワー的にも難しい気がした。

天気が良い日は家の片付けなどで避難所に人がいなくなることや、道路状況などからも移動の大変さもうかがえる。その為、日々の情報の変化への対応も大変であると予想される。

輪島市内の倒壊した建物や焼け焦げた朝市の姿や、海底が隆起した港の事を思うと、簡単なことでは無いが、今後、水道などのインフラや復興住宅が整備されて、ある程度市民の日常が戻り、今までのように歯科が稼働し定期的なメンテナンスができるようになるまでは、もう少し時間がかかると感じる。その為にも地元の先生方を外部から支えていかなければならないと感じた。

明日に向けて・・・

石川県歯科医師会にアセスメント表を提出し帰岡する

・メンバーの健康状態良好

２月１３日

時間	行程	時間	行程
9：00	ホテルリブマック金沢出発	12：30	金沢西 IC 通過
9：10	コインパーキング出発	18：00	岡山 IC 通過
11：50	石川県歯科医師会到着	18：30	岡山県歯科医師会館到着
12：00	石川県歯科医師会出発		

★岡山県歯科医師会南先生、事務局の方に出迎えていただく

『この度の災害支援活動に参加できましたこと、ご準備いただきました先生方のお陰と心より感謝申し上げます。また、皆様からの応援がなによりの力になりました。活動をする中で、災害の無い日々が何より幸せ・・とあらためて感じる毎日でした。これからの世界、日本の平和を心より祈念いたします。』

リーダー水川正弘　亀山達弘　南本茂樹　飯田美知代